

茨城県つくば市立吾妻小学校（学校長 中島 重雄）

実施日	平成19年6月29日（金）	時間	午後1時30分～午後3時10分
実施場所	体育館	対象/人数	6年生 105名
担当教諭	根本 智	ファシリテーター	小林 郁子
講師	西村 留美阿奈（ブルガリア） リム・フエキ（チュニジア・留学生）		

活動内容

ブルガリアの国について
簡単なあいさつ
ブルガリアの民族衣装・料理について
数の数え方について
子ども向けのブルガリアの歌
チュニジアの国について
簡単なあいさつ
チュニジアの紙幣，コイン，新聞，雑誌，民族衣装などについて
アラビアンダンスを踊ろう
質問コーナー
日本の印象，よかったこと，困ったことなど

児童の感想

・ブルガリアの方は日本にも長い間いるので，日本のこともよく知っていて日本語も上手だった。ブルガリアの子どもたちの歌を歌ってもらったり，あいさつを覚えてもらったりして楽しかった。

・ブルガリアのことについては，ヨーグルトぐらいしか知らなかったけれど，地図のどこに位置しているのかなどわかってよかった。

・チュニジアの方の民族衣装がきれいだった。

・チュニジアで日本のマンガが人気があるというのは驚いた。そのマンガに書いてあったアラビア語の文字は難しかった。

・チュニジアのお菓子を作ってきてくれて食べさせてもらった。少し変わった味がしたがなんとなくおいしかった。

・アラビアンダンスを初めて踊った。衣装を付けて踊ったので，初めは恥ずかしかったが，踊りに合わせて音が鳴ったりしてだんだん楽しくなってきた。

先生の感想

・コーディネーターとの打ち合わせを事前に行うことができたので当日の流れはスムーズだった。講師のプロフィールなども事前に児童に紹介することもできた。国際理解教育の一環として総合的な学習の時間のテーマの導入として行ったが，児童の意識の高まりがみられ効果的だった。

・身近なところに外国からきている人も多い地域であるが，今回お願いしたブルガリアとチュニジ

アについては国の位置も知らない児童が多く，児童にとっても新鮮だったと思われる。いろいろな国の様子や文化についても興味を持ち，調べたいという意欲が高まったようだ。

成果と課題

・児童105名に対するの交流集会という形式をとったため，個別の活動が少なかった。グループ分けをして講師の方と密接に交流するという方法も考えられたが，限られた時間で，いろいろな国の文化を知るためには，このような形式でも効果があつたと思われる。また，総合的な学習の時間の取り組みの中で，どの場面でこのような交流を行うかについても検討していく必要がある。さらに，今後，このような活動をより効果的に活用するためにも，どのような関わり方ができるのか再検討していくことも課題である。

